



【スタッフ紹介】

- ・代表 野口 大輔 (日本サッカー協会公認C級指導員・公認4級審判員)
- ・コーチ 森 亮治 (白百合SC・OB)
- ・コーチ 森川 史也 (公認4級審判員・タヤけFCーあきる野FCー大東文化大学2年生)
- ・コーチ 小島 強 (公認4級審判員・ミウレオFC代表兼選手)
- ・コーチ 鎮西 貴大 (陶鎔SSー東京ウエストFC・OB)
- ・コーチ 藤田 悟 (北海道出身・創価大学4年生)

「活動目標」

楽しむことから

サッカーを始めたきっかけや続けている理由は、サッカーをしていると楽しいから。
そんな気持ちを、小学生になっても大切にするような活動を目指します。

自分らしく

サッカーはチーム戦術の中で選手が歯車になるスポーツではありません。
束縛からの解放こそがサッカー最大の魅力です。ボールを自由に操るプレイヤーを目指します。

姿勢

“楽しむ”と“ふざける”は違います。知性の伴った遊びにこそ本当の楽しさが訪れるものです。
仲間を尊敬し、地道に努力を重ねた先に、素晴らしいゲームが待っています。

自分たちより大きいモノ、自分たちより前にあるモノを追い続ける姿勢をもった人物に成長してほしい。そんな願いを込めて、サッカーを心から楽しむ環境を提供していけるようなチームを目指します。

『夢中になれる時間』の提供

『自己主張』と『協調性』のバランス

『自分で自分を育てる』ためにコーチを利用する意識

『やりたいこと』と『やらなければならないこと』の両立

『子供から選手へ』精神的な成長のための環境

子ども達のために・・・

子ども達がサッカーに夢中になって取り組んでいる姿を見て、保護者として何かをしてあげたいと思うのは自然な気持ちです。練習への送り迎えやお弁当作り、たくさんの洗濯物に少し閉口してしまうこともあるかもしれません。

しかし、ピッチでボールを追いかける選手をみると「しっかりがんばれ！」と応援せずにはいられないと思います。

最初はボールを上手にけれず、仲間のうしろにいた選手がどんどんたくましくなっています。試合に勝って喜び、負けて悔しがる。シュートが決まったら胸を張り、ミスしてしまったら肩を落とす。何かをしてあげなければと思う事も保護者としては当然です。

しかし、サッカーでの主役は子ども達です。子ども達が考え、感じ、判断し、プレーした事を認めてあげてください。それがうまくいかなくても、決して責めないで下さい。失敗した事は十分わかっていると思います。上手にできた事はしっかりとほめてあげて下さい。勝っても負けても大きな拍手。

良いプレーには味方、相手関係なしに拍手。

そんな皆様の応援が子ども達のサッカーを盛り上げます。

めざせ、ベストサポーター！！

子ども達の思うその気持ちが最適な方向になるために・・・

